

児童館 こどもの ひろば

11月の行事予定

●西児童館 ☎(84)2321

- ・ドッジボール大会 4日(火)
- ・ちびっこ広場 7日(金)
- ・モジモジ大集合 12日(水)
- ・りんごの皮むきに挑戦 19日(水)
- ・ちびっこ広場 21日(金)
- ・避難訓練 25日(火)
- ・手作りクッキング 27日(木)

●南児童館 ☎(84)3456

- ・ドッジボール大会 5日(水)
- ・長縄跳び大会 10日(月)
- ・ふりふりバター 12日(水)
- ・ママといっしょ 13日(木)
- ・みんなでクッキング 18日(火)
- ・ママといっしょ 27日(木)

お月見会 ~西児童館~



9月8日、西児童館においてお月見会を行いました。すすきやおだんごをお供えし、十五夜についてのお話を聞き、「お月さまってどんなあじ？」の絵本を見ました。動物達が協力してお月様を取りに行き、みんなで分けて食べたお月様は、それぞれ自分の大好きなもの、その味がしたという夢の様な話に「うそー、とどくわけないよ」と言いながらも真剣に聞いていました。

当日は、曇り空で月も顔を出しませんでしたが、翌日は良くはれて、スーパームーンを見た方はたくさんいたことでしょう。

みんなでクッキング ~南児童館~

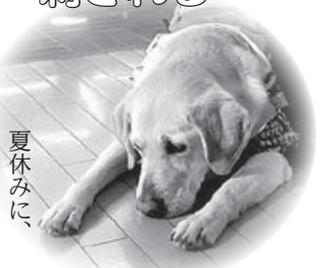


9月17日、南児童館において「みんなでクッキング」を行いチーズバーガーを作りました。ひき肉を子ども達がこね、形を整えてホットプレートで焼きました。パンにハンバーグとレタスとチーズをはさみ、とろーりおいしそうなにおいが部屋いっぱいに広がりました。口のまわりにソースをいっぱいつけ、ほおぼりながら食べている姿が微笑ましく見えました。食欲の秋、ポリウームのあるチーズバーガーもあつという間に完食しました。

思いやりの心で明るい社会を

盲導犬オスカー一刺される (人権を考える)

五霞東小学校



夏休みに、埼玉県に住む男性の盲導犬(アイメイト)オスカーが刺されるという事件が起こりました。九月に入ると全盲

の女子高生が、白い杖が当たったという理由で蹴られるという事件が川越市で発生しました。

自分も相手も大切に「しずかちゃん」の話し方を勉強している五霞東小から考えると、相手の事(心や体)を大切にしていなくても悲しい事件であると感じました。そこで、五年生では、新聞記事(出来事)を道徳の授業で考える事にしました。

●オスカーが刺された被害者男性の気持ちを考えよう。

・オスカーが痛みを耐えていた事を考えると悲しくなると思いますが、何の罪もないオスカーが刺されて悲しみと怒りがこみ上げたとと思う。

・鳴かずに我慢していたオスカーに感謝して、刺された事に気づかなかつた自分を責めたと思う。

・自分の目の代わりを犬がしてくれているのに、人間がこんな事をするのはひどい行為で、人として悲しい。

・ずっと支えてくれたオスカーが傷ついていても悔しくて悲しかったと思う。痛くても自分の仕事を務めていたオスカーに感動していると思う。

・加害者に対して、自分が刺されたらどんな痛みかを感じてほしい。

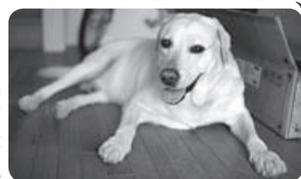
・目が見えなくても同じ人間で、そのアイメイトを傷つけるのは最低だ。

●これらの事件を通して考えた事を発表しよう。

・ぼくは今まで、障害者の事をあまり考えていなかった。でも、この授業を通して、障害者に対する態度を深く考えさせられた。また、障害をもつ持たないは関係なく、すべての人を差別しないようにしたいと思った。

・アイメイトに被害を与え、障害のあるその飼い主にも深い傷を負わせるひどい事件だったと思う。世の中には点字ブロックや電車の優先席、車イスなど障害を持つ人に必要な物がたくさんある。障害を持つ人が不自由な思いをしない世の中を私はつくっていききたい。

・障害を持つというだけで差別はひどいと思う。もちろん、その犬も悪くない。もし私が同じ立場だったら、すごく悲しくなると思いますが、障害を持つ人だけでなく、おじいちゃんやおばあちゃんも、女の子も子どもも様々な国の外国人の方も、すべての人が同じ大切な人間で、差別がないすてきな世界をつくるのは私たちだと思えます。



※写真はすべてイメージ画像です。